

第4章 学びの環境づくり

第1節 生涯を通して学習することができ、その成果が適切に評価される環境

社会の成熟化を背景に、県民の学習意欲が高まる中、いつでも、どこでも、だれでもが、生涯を通して学習することができる環境づくりを進めるとともに、学習の成果が適切に評価・活用されるシステムを整備することが必要です。また、学んだ知識、技術、文化などが時間的・空間的に循環する「学びがめぐる学習空間・ふくしま」の実現が求められています。

このため、広域的な学習圏の構築を目指し、生涯学習推進拠点機能の整備を図るとともに、情報の提供や指導者の育成、学習相談の実施など中核機能を整備します。また、より高度で専門的な学習ニーズに対応するため、高等教育機関等との連携を進めるとともに、社会教育施設の充実に努めます。

(1) 生涯を通して学習することができ、その成果が適切に評価される環境

生涯学習推進拠点機能の整備
 学習機会の充実と学習成果の評価・活用
 生涯学習に関する情報の収集及び提供
 生涯学習に関する指導者の育成
 生涯学習相談体制の充実
 高等教育機関・民間事業者及びNPO等市民団体との連携
 社会教育を担う人材の育成
 社会教育施設・設備の整備・充実と活用

項 目	具体的施策の方向
生涯学習推進拠点機能の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合的に県民の学習機会の拡充を図り、市町村や民間事業者等との連携・協力体制を充実させ、生涯学習を推進するための拠点となる生涯学習に関する機能の整備を進めます。
学習機会の充実と学習成果の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広域学習圏ネットワークの形成 多様化・高度化・広域化する県民の学習需要に対応するため、市町村との連携を図り、広域的な学習圏を形成し、そのネットワーク化を図ります。 ▶ 県民カレッジの推進 県や市町村、大学、民間事業者などが提供する学習機会を体系化するなど、全県を対象とした県民カレッジを推進します。 ▶ 学習プログラムの研究、企画 県民の学習ニーズに即し魅力ある学習機会を提供できるよう、学習者の立場に立った教材の制作や現代的課題に対応するための学習プログラムの研究開発に努めます。 ▶ 評価・活用支援システムの研究 学んだ成果を地域社会の様々な活動に生かしていくため、生涯学習関連事業を実施する機関との連携により、学んだ成果が広く社会で認められるとともに受講生が自主的に講座を開設することができる、評価・活用支援システムの在り方について研究します。
生涯学習に関する情報の収集及び提供	<ul style="list-style-type: none"> ▶ まなびとファインダーの運営管理と活用促進 学習者が必要とする情報を迅速・的確に提供するため、システムのデータベースの充実やその活用促進に努め、

	<p>県民の学習活動を支援します。</p>
<p>生涯学習に関する指導者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生涯学習に関する指導者養成研修 県民の多様な学習活動を支援するため、指導者の養成と資質の向上に努めます。 ▶ ボランティア・コーディネーターの養成 ボランティア活動そのものが自己実現につながる生涯学習であるという観点から、ボランティア活動をしたい人とそれを受け入れたいとする側を総合的に調整し、活動を通じて地域社会に寄与する人材を養成します。
<p>生涯学習相談体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 専門学習相談員の設置、学習相談研修 各種の学習情報を広く提供したり、学習の内容・方法等についての相談体制を整備するなど、生涯学習に関する専門的な学習相談体制の充実に努めます。
<p>高等教育機関・民間事業者及びNPO等市民団体との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大学・専修学校との連携 高度で体系的な学習機会や専門的な職業技術教育分野の学習機会を広く県民に提供するため、高等教育機関との連携に努めます。 ▶ 放送大学との連携 高度で体系的・専門的な学習ニーズに応えるため、時間的・空間的制約なしにだれでも学ぶことのできる放送大学との連携・協力体制の充実に努めます。 ▶ リカレント教育の推進 リカレント教育・企業内教育を推進するため高等教育機関や民間教育機関等に働きかけ、連携・協力のための条件づくりに努めます。 ▶ NPO等市民団体との連携 多様な学習ニーズに応えるため、地域における新たな教育機能をもった組織として住民に近い立場で活動するNPO等市民団体との連携に努めます。
<p>社会教育を担う人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会教育主事の研修の充実 市町村の社会教育主事の設置を促進するとともに、今日的な課題に対応した社会教育事業推進のための専門的知識や技術習得の研修を通して、資質の向上に努めます。 ▶ 公民館主事等の研修の充実 市町村における生涯学習の中核的施設となる公民館の館長・公民館主事等の公民館事業に関する専門的知識と技術の向上を図るため、研修機会の提供とその充実に努めます。
<p>社会教育施設・設備の整備・充実と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)、自然の家の整備・充実と利活用 自然の大切さやいのちの尊さが実感できるよう施設・設備の充実や地域における学習の拠点としてその機能が有効に活用されるよう努めるとともに、地域に根ざした事業の企画・運営を図ります。 ▶ 公民館の整備・充実と活用 地域における学習活動の拠点として施設の整備・充実に努めるとともに、住民による企画・運営を含めた参

加型事業の促進を図ります。

- ▶ 県立図書館の整備充実
図書館資料や調査相談機能の充実を図るとともに、県民の多様な学習活動に対応するため、県民の読書活動に対する支援事業を推進します。また、県内図書館との情報ネットワーク等の活用を進めます。
- ▶ 公立図書館と学校図書館との連携強化
公立図書館と学校図書館との情報ネットワークを通じた連携を進めるとともに、地域の人々や保護者がボランティアとして活躍できる場としての開かれた学校図書館の環境整備に努めます。
- ▶ 図書館未設置町村への普及啓発
身近な生涯学習機関である図書館の整備を図るため、未設置町村への普及啓発に努めます。

〔語注〕（第1節 生涯を通して学習することができ、その成果が適切に評価される環境）

現代的課題	社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために、人々が学習する必要のある課題。具体的には、人権・共生・高齢社会・環境・国際理解などがある。
放送大学	放送大学学園法によって設立され、TV・FM放送によって講義が開始された大学。放送並びに印刷教材による学習、学習センターでのスクーリング、レポートの指導等による多様な学習形態を特徴としている。
リカレント教育	学校教育を終了し、いったん社会に出た後に行われる高度で専門的・体系的な教育をいう。

公民館の設置状況

（平成17年度社会教育グループ調べ）

区分 地域	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
中央館	15	17	12	21	6	14	1	86
地区館	68	62	6	36	6	17	35	230
計	83	79	18	57	12	31	36	316

図書館の設置状況

区分 地域	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
市町村立	6	12	6	2	1	7	6	40
法人	0	1	0	0	0	0	0	1